



秋保温泉から秋保大滝に向かって街道を進むと、左手に目印となる信仰の山「羽山」の後ろに、頂上が少し不自然に平らになっている山が見えてくる。ここは中世秋保郷に発祥したとされる平家の落人の子孫、秋保氏が治めた山城で、「楯山城」と称します。

敵との戦いに備え土塁を築き、見晴らしの良い頂上を整地したその山は、山そのものが城として、秋保の心のシンボルとなってきました。

秋保の歴史の中心地、長袋から長館跡、館山原、そして秋保を治めた山城、楯山への登城。かつては強者どもが闊歩した舞台も、今は静かに時を刻んでいます。

草に覆われた天空の城に立ち、秋保の奥深さをたどってみませんか。



天空の城跡「楯山」



平安時代、栄華を極めた平氏が壇ノ浦に敗れ、平清盛の嫡男である平重盛の子孫の一行が幾多の苦難を経て秋保郷に定着、秋保氏の祖となったと伝えられています。

やがて秋保郷全体を治めた秋保氏は、楯山に支配の拠点としての山城を築き、その裾野の館山原に居を構えましたが、後に二口街道と楯山城の中間、名取川と瀬沢に囲まれた袋状の台地に長館を整備して居城とし、秋保氏から分家した馬場秋保氏、境野氏などとともに支配を強化していききました。

その後伊達政宗公の仙台開府とともに秋保氏一族は所替えとなって秋保郷から離れ、城も廃館となりましたが、半世紀ほどで再び秋保郷居住を許され、その後伊達藩の重臣を勤めるに至り、長館に屋敷と家中集落「館」を構えて、秋保郷を統括し、明治に至っています。

長袋から館山原にかけては、「長館跡」と「楯山城址」を核とした、秋保氏の歴史の中心地として、落ち着いた景観の中に深い歴史の重みを感じさせてくれる魅力があります。

行ってみたい 秋保 天空の城跡「楯山」

企画・発行：秋保地域資源活用委員会・仙台市
連絡先：秋保総合支所総務課 (022-399-2111)
秋保市民センター (022-399-2316)

秋保の歴史の奥深さを
たどり、ふみしめ、体感する
長袋から長館跡、そして楯山城への旅

掲載されている情報は、平成28年3月現在のものです。

訪れてみたい秋保
秋保二口街道ツアー 62

No.6

